

性非行への理解と対応を考える

性非行(性的逸脱行動)の背景には、単に性的欲求のみならず、家庭環境、成育歴、虐待、特性など複合的な要因があると言われています。

この研修会では、加害者が有する様々な課題を踏まえ、問題行動への理解を深め、その解決に向けて、早期に適切な支援に結びつけることで、再非行や重大な犯罪へとつながることを防ぎ、青少年の健全育成を図ることを目的としています。

日時:令和2年9月17日(木)
13:30~16:30

場所:愛媛県庁第二別館6階大会議室
(松山市一番町4-4-2)

内容:性暴力に係る理解と対応に知見を有する講師による講義のほか、非行少年の立ち直りを支援する専門機関(松山学園、松山少年鑑別所)の協力により、地域での専門的な取組の説明を行います。

参加無料

(定員100名)

講師:毛利 真弓氏(同志社大学心理学部准教授)

大阪大学・博士(人間科学)。臨床心理士。公認心理師。矯正施設において心理技官としての勤務後、官民協働刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」において、日本で唯一の刑務所内治療共同体のリーダーとして従事。現在は、犯罪行動変化のためのプログラム開発・実践に関する研究や治療共同体手法を用いた被害と加害からの回復の研究、犯罪からの離脱に関する研究に取り組む。一般社団法人もふもふネット理事、企画、大阪府再犯防止カウンセラー(性暴力)。



この事業は三浦保愛基金を利用しています